

平成18年度事業の報告 平成19年度事業の計画

- 1 アマモ場づくり
- 2 和白塩浜地区護岸整備
- 3 干潟機械耕うん
- 4 アオサ対策(回収、堆肥化等)
- 5 和白地区海域環境調査
- 6 【新規】和白地区海域環境改善検討
- 7 【新規】博多湾潮流調査
- 8 和白干潟保全のつどい
- 9 スジアオノリ[海藻]の生育実験
- 10 鳥類休息場[イカダ]実験

3 干潟機械耕うん



干潟耕うんについて

- 古くから漁業者のあいだで行われていた手法
- 経験的にアサリや魚の漁獲が増えるといわれる

◆和白天干潟の耕耘

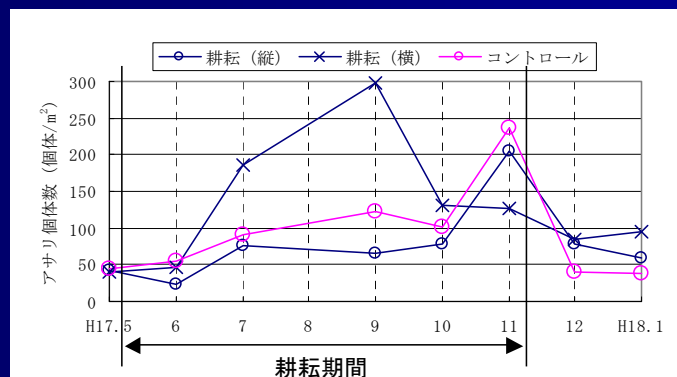
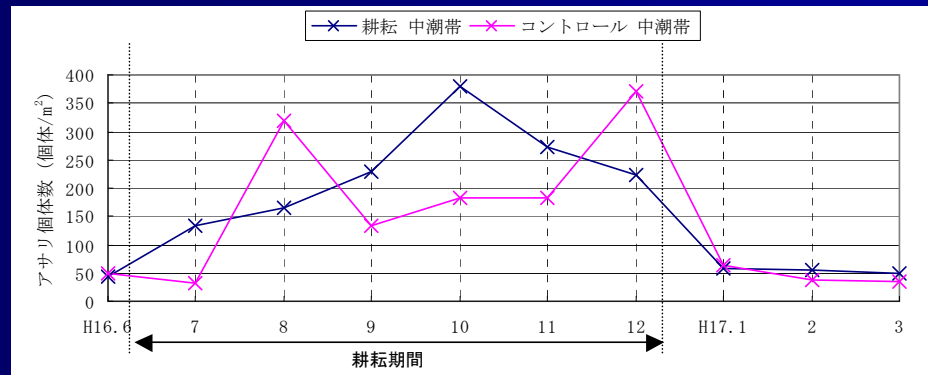
H15 スコップ

H16 手押し耕耘機



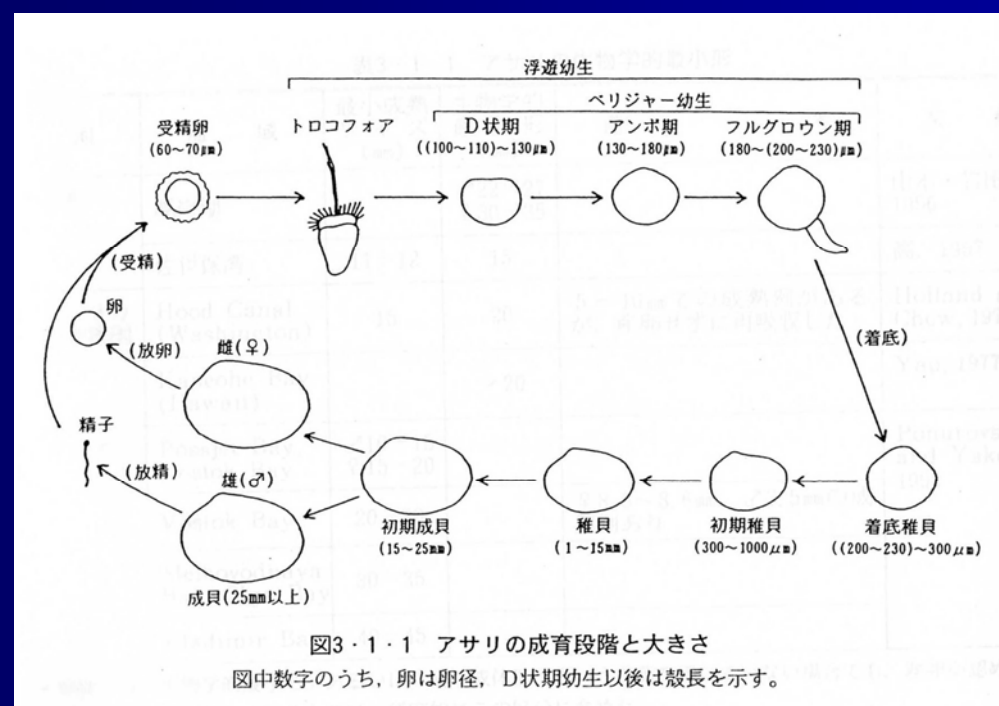
干潟耕うんの効果

●アサリが増える傾向あり



アサリの生活史

卵 → 幼生プランクトン → 稚貝 → 成貝
 ← 海を漂って生活 → | ← 干潟や海底で生活 →



干潟機械耕うんのねらい

●アサリの増加 → 生態系を豊かに

■干潟に耕耘の「うね」をつくる

→干潟の細かい泥が洗い流される

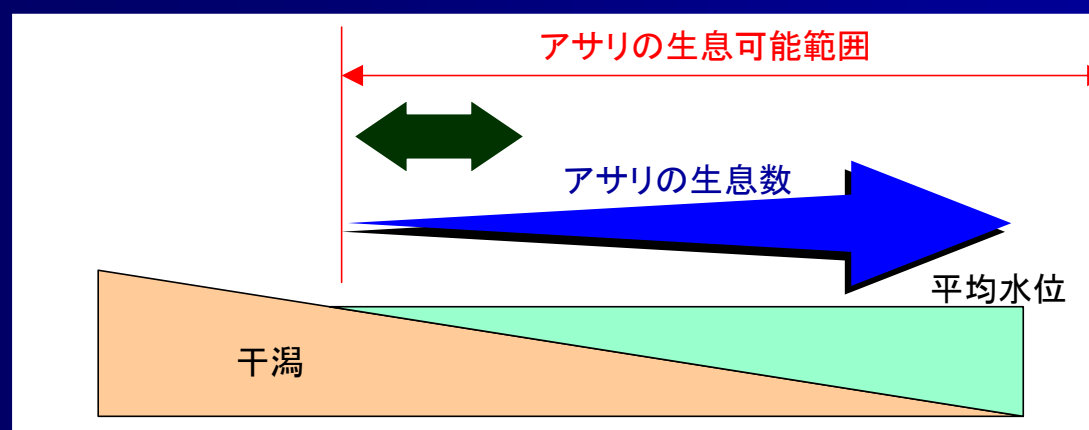
→海水がたまって稚貝が着きやすくなる

■干潟が柔らかくなる

→アサリがすみやすい状態になる

耕うんする場所

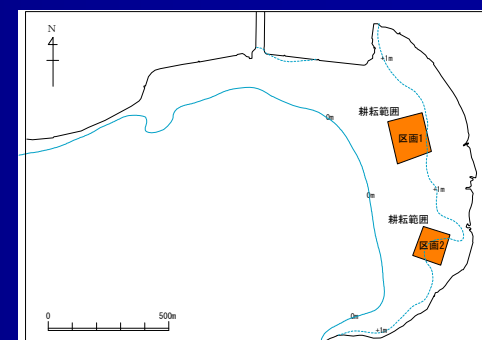
■アサリの生息可能範囲で、生息数の少ない場所



平均水位(1.1m)以下で

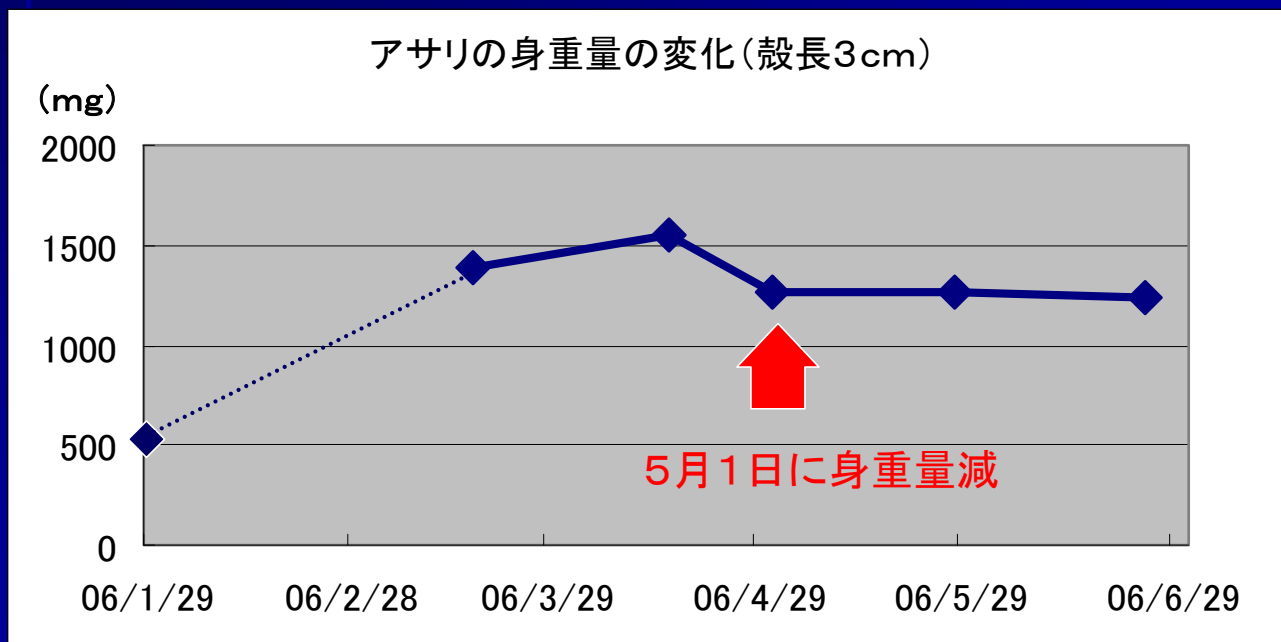
干出時間が長い

1m～0.5mの範囲を耕耘



耕うんする時期

- 春の産卵後の着底時期をねらって耕耘
- アサリの身重量の変化で産卵時期を推定



耕うんの方法

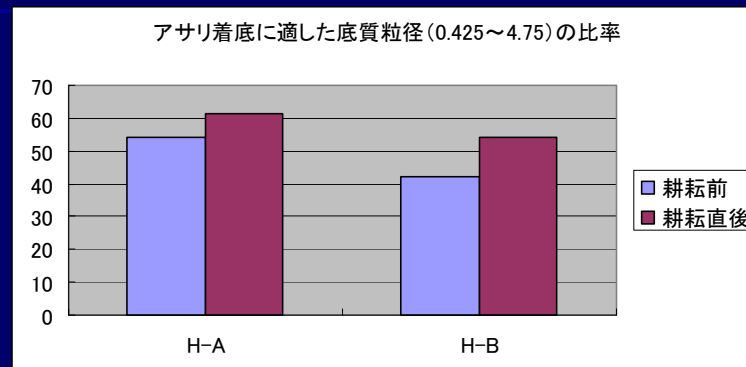


- 荷重の小さいキャタピラ式の機械を使用
- 人が歩くより少し遅い速度
- 耕耘実施: 5月29、30日
- 耕耘面積: 約4ヘクタール



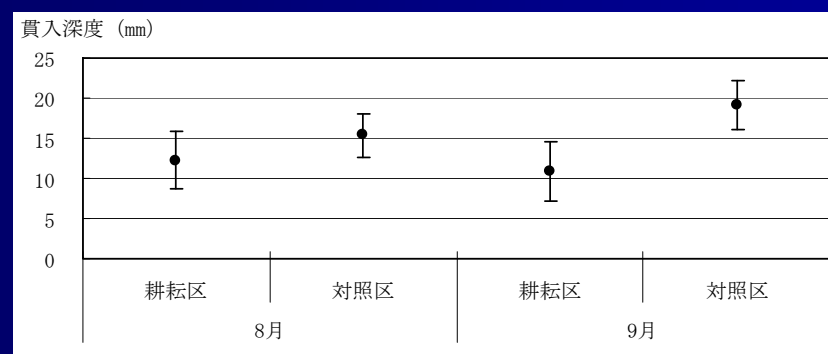
耕うんの効果（底質）

■アサリ着底に適した粒径が増加



耕耘1~2日後
5月31日調査

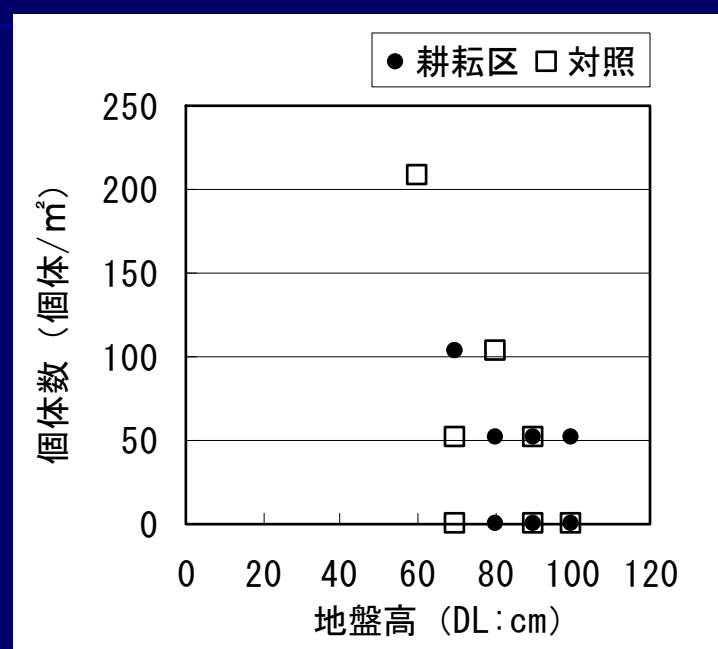
■干潟が柔らかくなり4ヶ月以上継続



耕耘3~4月後の調査結果

耕うんの効果（アサリ）

■耕耘場所でアサリ稚貝の増加はみられなかった



耕耘2週間後
6月12日調査

■春の着底稚貝が少なかった可能性がある

■平成19年度も引き続き検討していく

4 アオサ対策

堆肥化実験(アオサ活用試験農園)



アオサ堆肥使用

4 アオサ対策(平成19年度)

- 回収(陸上、海域)
- 堆肥化(試験農園)
 - ・【新規】マニュアル作成
 - ・市民講座
- 食材としての活用検討
 - ・【新規】料理コンテスト

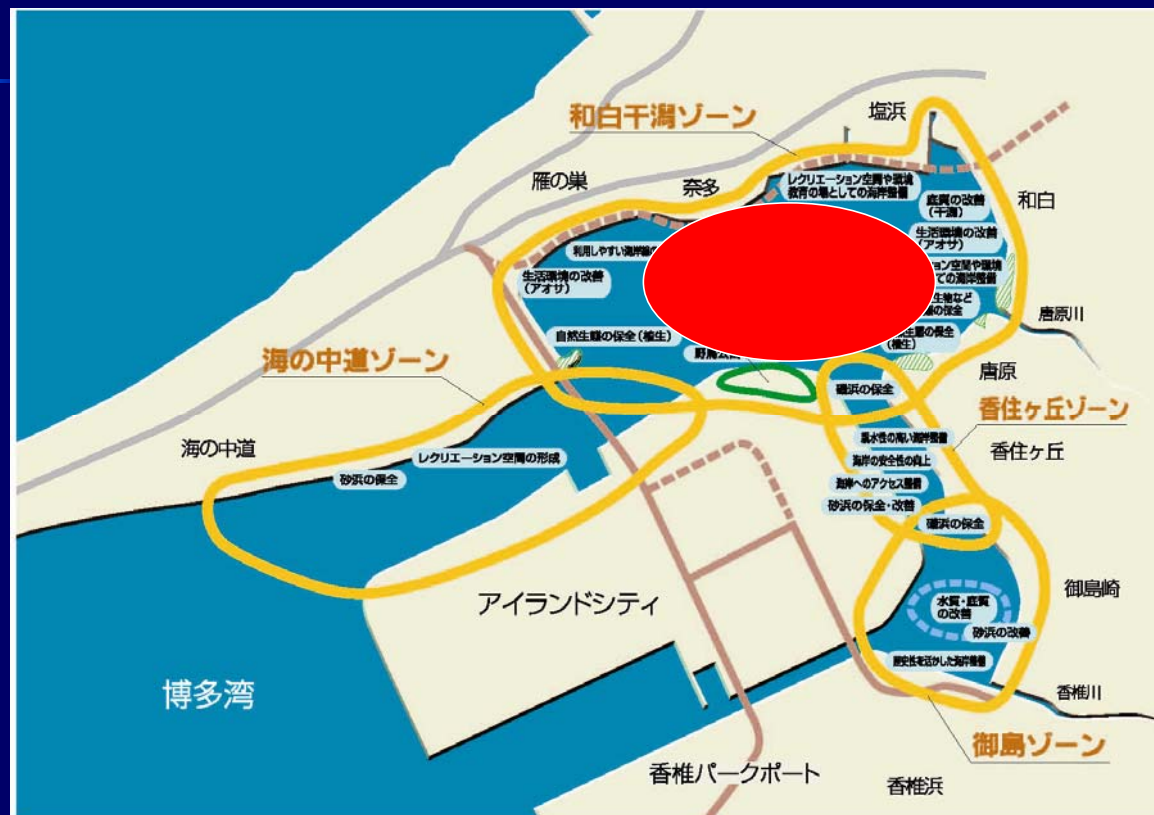


18年度市民講座



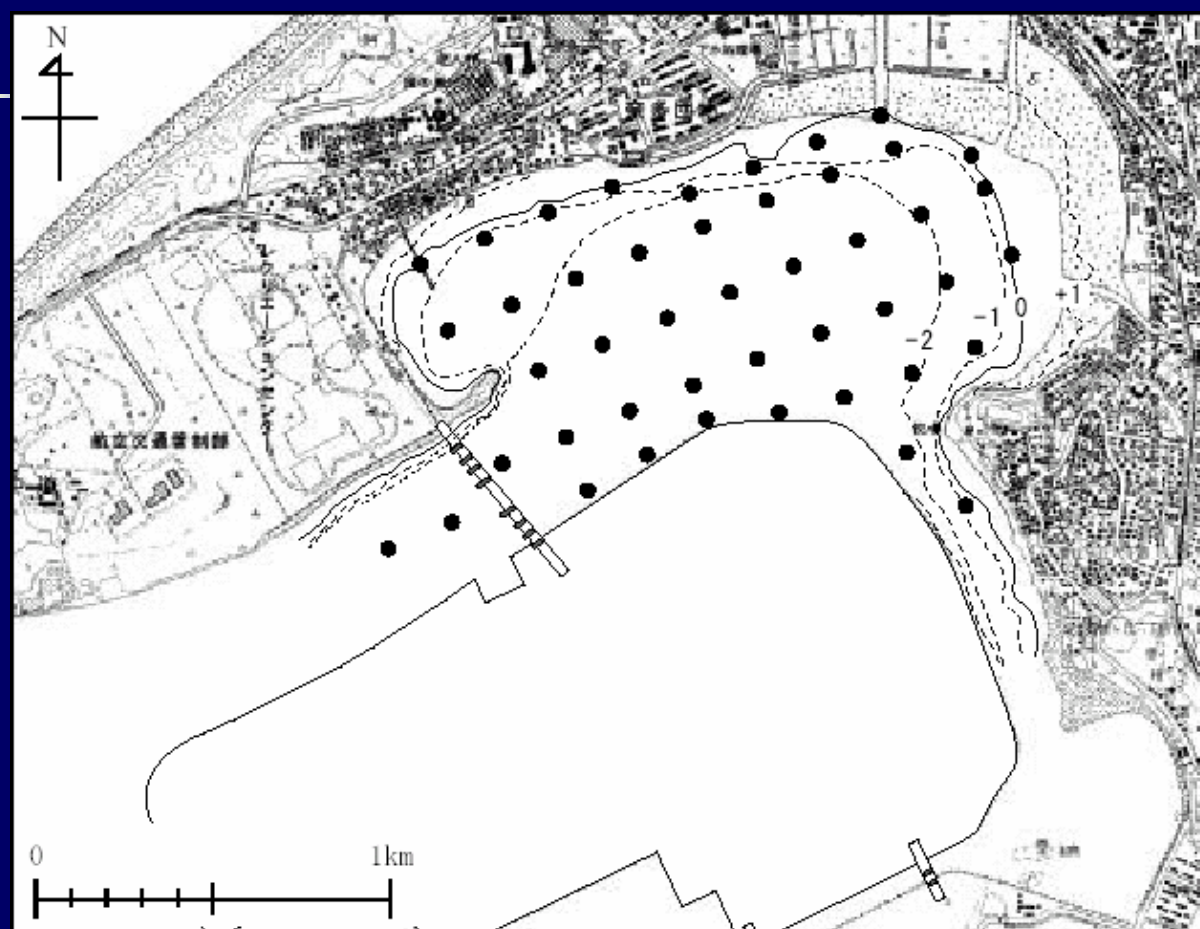
アオサを使ったお菓子

5 和白地区海域環境調査



5 和白地区海域環境調査

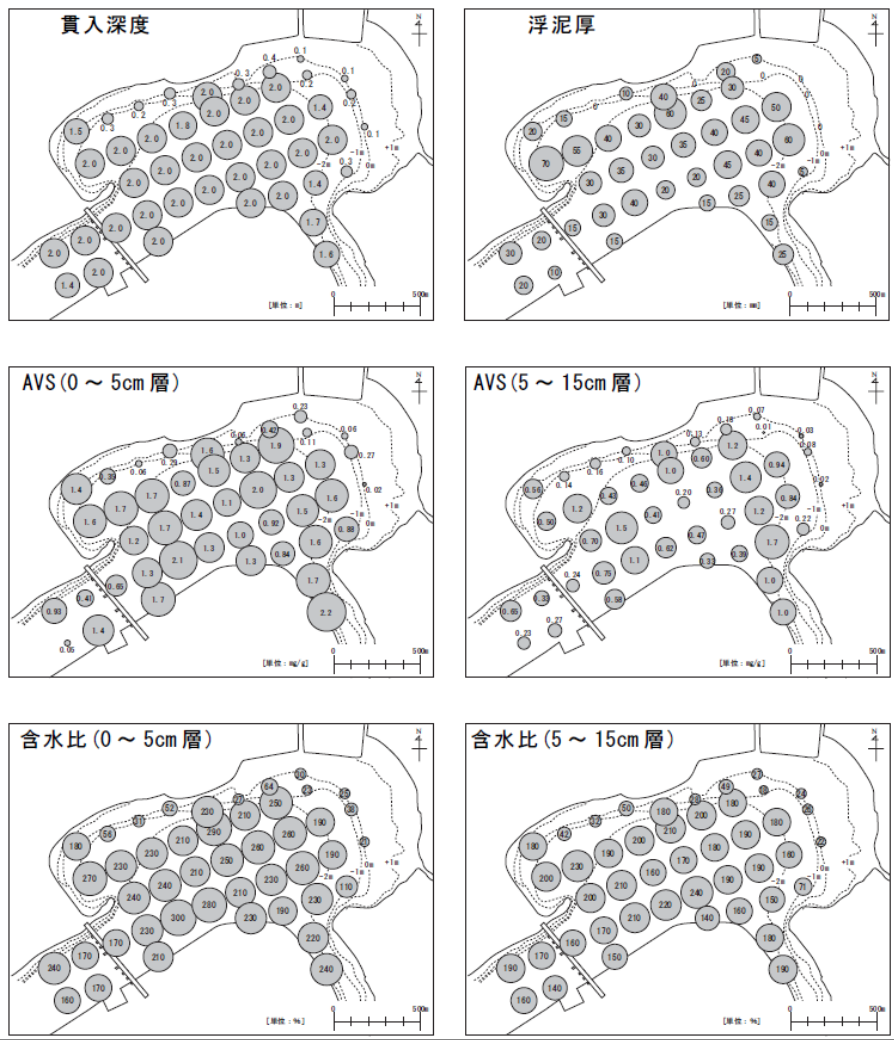
■平成18年度基礎調査実施



5 和白地区海域環境調査

底質の調査結果

H18.8

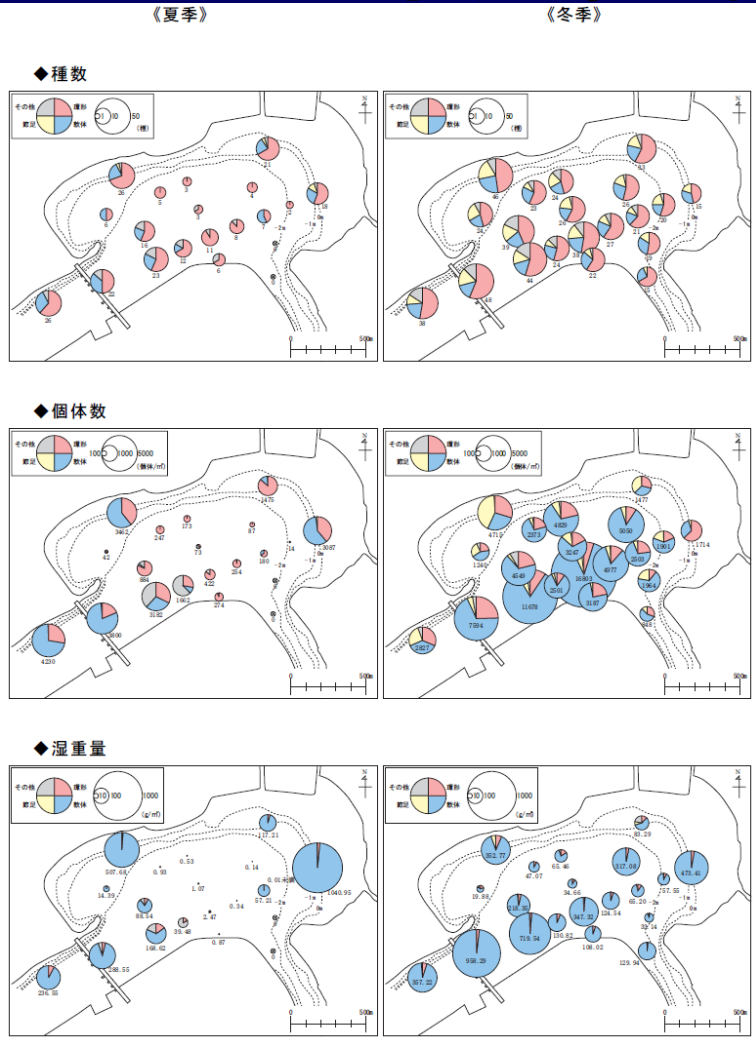


5 和白地区海域環境調査

底生生物の調査結果

夏季:H18.8

冬季:H19.1

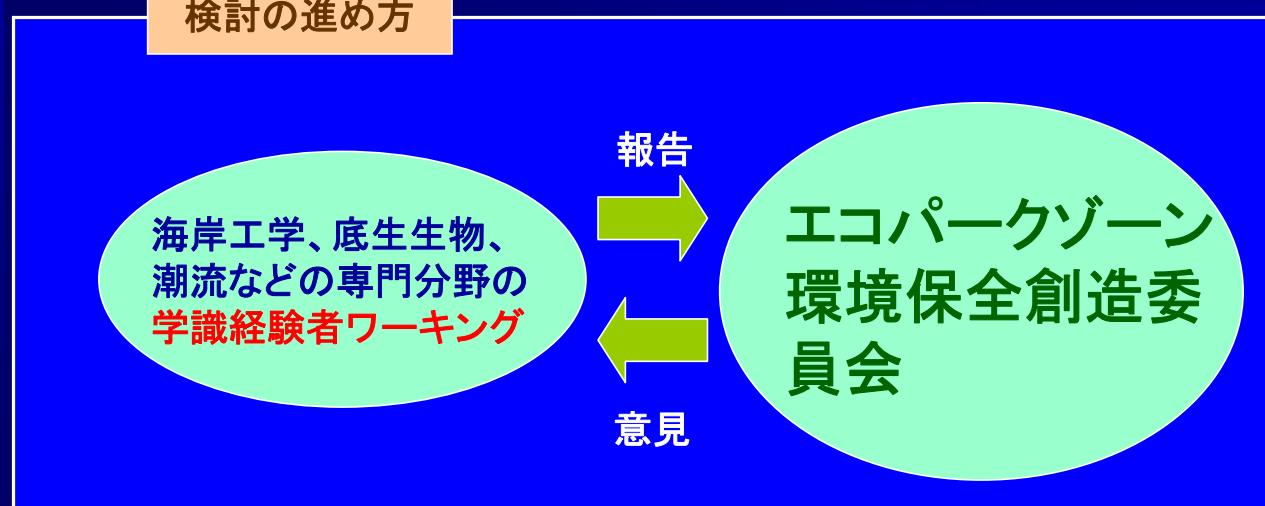


6 【新規】和白地区海域環境改善検討

平成19年度事業：

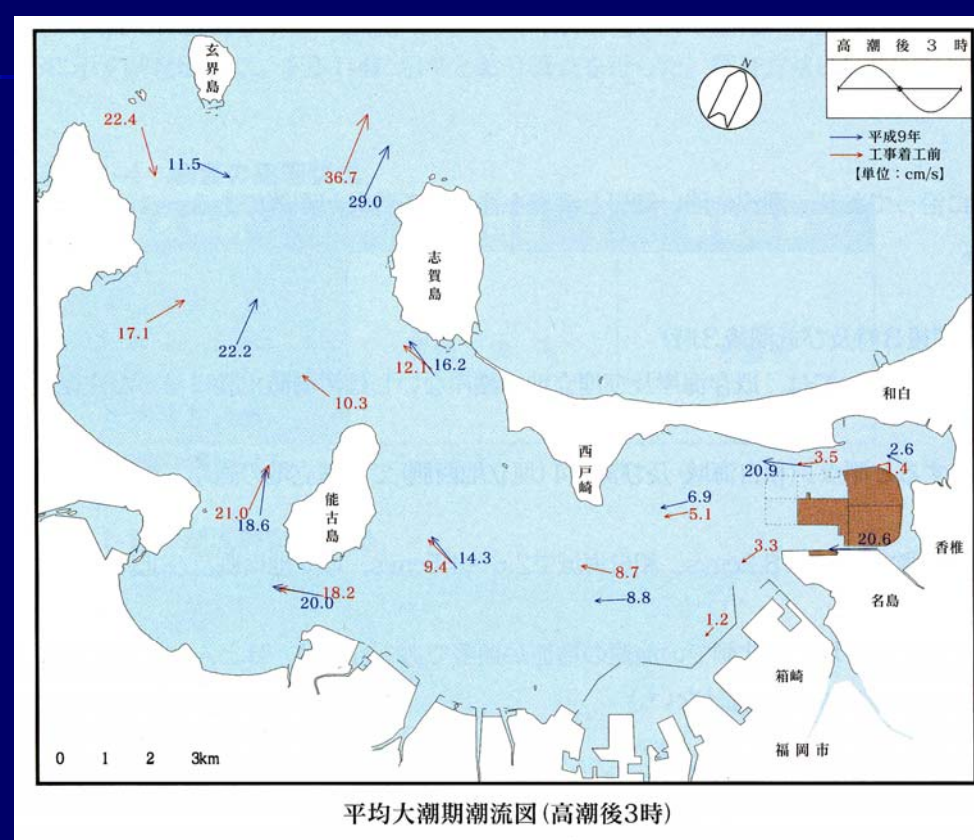
- ・18年度の調査結果を踏まえて改善手法等を検討
- ・「学識経験者ワーキング」を設置

検討の進め方



7 【新規】博多湾潮流調査

平成19年度に湾内の潮流調査を実施

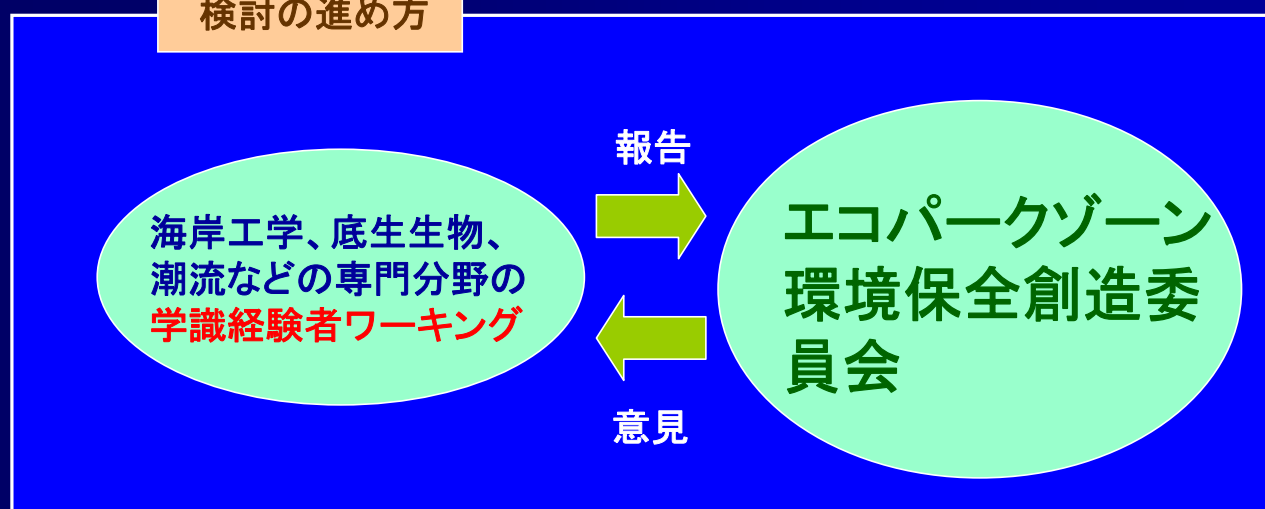


平成9年度の潮流調査結果

7 【新規】博多湾潮流調査

「学識経験者ワーキング」を設置

検討の進め方



8 和白干潟保全のつどい

市民団体の意見交換、イベント等の共働企画・運営

【参加団体】7団体

ウエットランドフォーラム、和白干潟を守る会、日本野鳥の会福岡支部、ふくおか湿地保全研究会、博多湾生態系活性化プロジェクト、エコフィット、GREEN'S

【活動】

- 定例会（毎月第2火曜日、東市民センター）
- イベント等の共働企画・実施
- ホームページによる情報発信

和白干潟保全のつどい

平成18年度の取り組み



アサリ啓発イベント[5月]



アサリ看板(3か所)[10月]



アサリ収穫祭[11月]

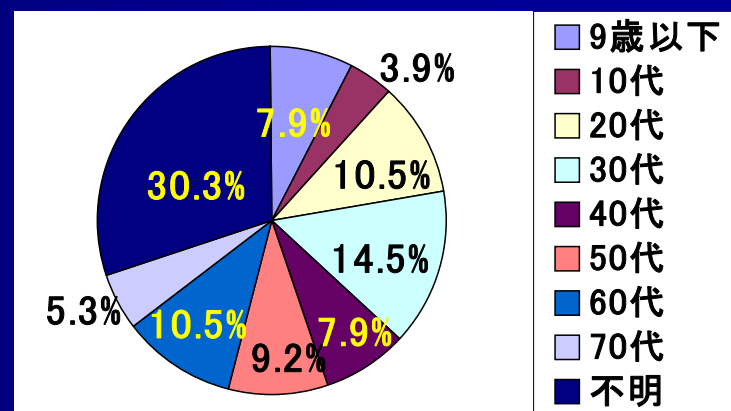
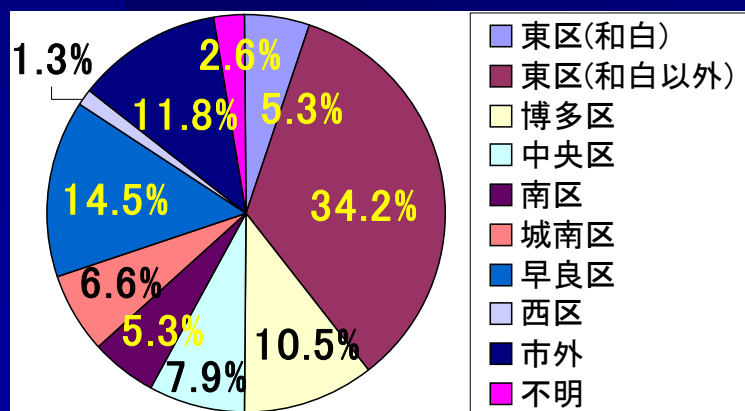
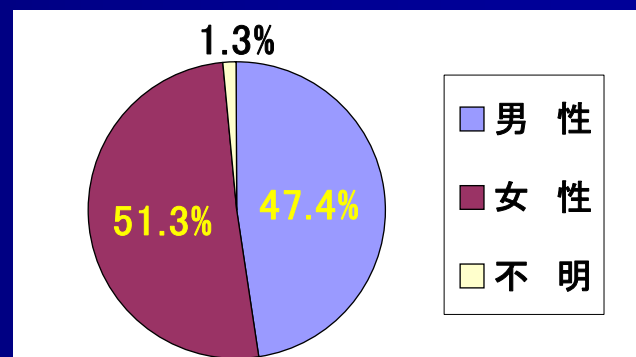


博多湾バードウォッチング[2月]

和白干潟保全のつどい

イベント参加者の内訳

アサリ収穫祭(H18.11.5)
参加者数 76名



9 スジアオノリ(海藻)の生育実験



【目的】鳥類の餌ともなるスジアオノリのエコパークゾーン海域における生育

【概要】

- 天然アオノリから人工採苗
- 和白海域(2カ所)、御島海域(1カ所)に試験網設置、生長観察

【期間】H18.12～H19.1

【結果】生長は認められなかった。
(水温が低かった。)



10 鳥類休息場(イカダ)実験

【目的】イカダを活用した鳥類休息場の検討

【概要】木製(フロート有・無)、竹製(同)の計4基、1m×3m

【期間】H18.11～H19.5[予定]

【結果】利用の痕跡(糞)が確認された。

